

## 取扱説明書

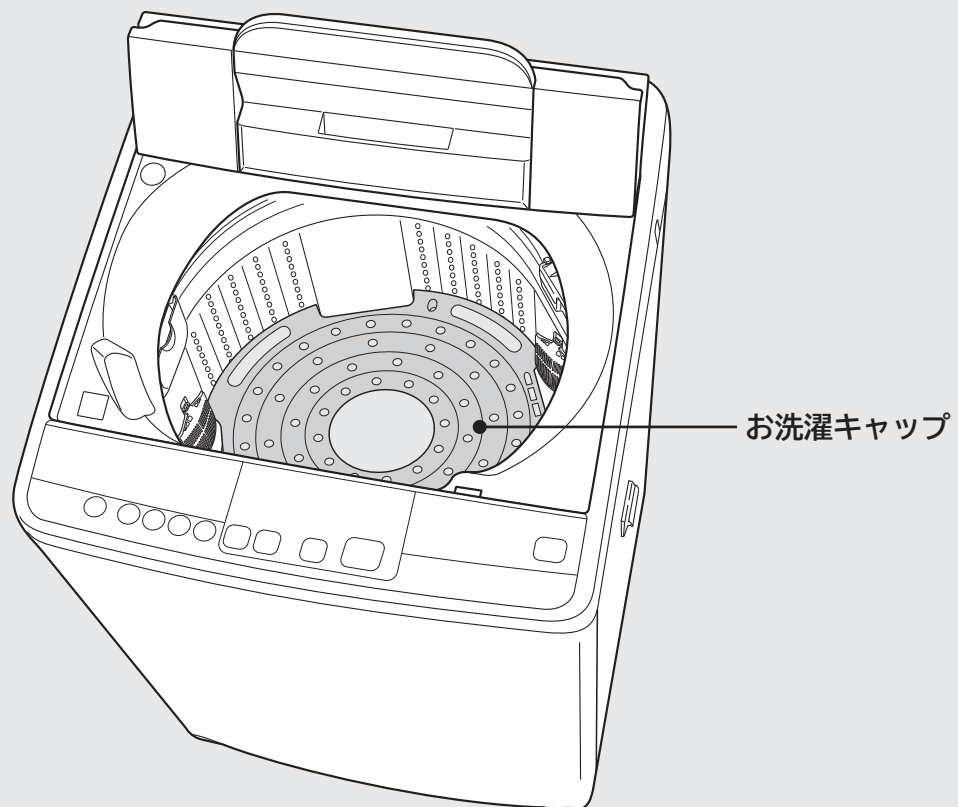
日立全自動電気洗濯機用

# お洗濯キャップ

MO-F79

このたびはお洗濯キャップをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お洗濯キャップを使って上手にお洗濯！



(この取扱説明書は、NW-7MY 型全自動電気洗濯機を中心に説明しています。  
ほかの機種をご使用の場合は、付属されている取扱説明書と合わせてお読みください。)

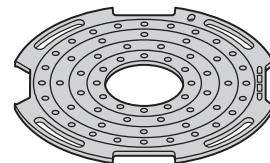
# 毛布コースやドライコースで洗濯する

## お洗濯の準備

■「毛布」または「ドライ」コースで洗濯するときは、別売りの「お洗濯キャップ(MO-F79)」が必要です。

- お洗濯キャップを使用せずに洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損する恐れがあります。


※お洗濯キャップの取り付け・取り外しかたについて → P.5、7



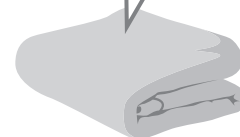
## 「毛布」コースの場合

### 洗濯できるもの・できないもの



#### ■洗濯できる毛布

-  (弱い手洗いが良い)と表示されている毛布
- アクリル、またはポリエステルマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布 (幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが4.2kg以下)
- 電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。

4.2kg以下



#### ■洗濯できる掛け布団


- 詰め物素材が化繊(ポリエステル)100%の掛け布団  
掛け布団 (シングルサイズ 幅150cm×長さ210cm以下、詰め物の重さ1.8kg以下のもの)  
肌掛け布団(ダブルサイズ 幅190cm×長さ210cm以下、詰め物の重さ1.8kg以下のもの)
- 詰め物素材が羽毛の掛け布団で  (洗濯機による洗濯ができる)または  (弱い手洗いが良い)表示のもの  
(例：肌掛け布団 詰め物の重さ0.5kgなど)

1.8kg以下



- 詰め物素材が羊毛、真綿、わたのものや、カバー材質が絹のものは洗わないでください。
- ほかの洗濯物を追加しないでください。

#### ■その他洗濯できるもの

-  (弱い手洗いが良い)表示のベッドパット、カーテン

## 毛布・掛け布団の入れかた

- 1 毛布、掛け布団の角から、洗濯・脱水槽に少しずつ入れます。








- 2 掛け布団は中の空気を追い出すように、少しずつ入れます。



# 「ドライ」コースの場合

## 洗濯できるもの



### 衣類の取扱絵表示

 (弱い手洗いが良い)表示または、 (洗濯機による洗濯ができる)表示のもの  
 (ドライクリーニングができる)表示と、 または  表示の組み合わせのもの

■上記の絵表示があっても、洗えないものがあります。  
クリーニング店にご相談することをおすすめします。

- セーター、カーディガン(ウールなど)
- スラックス、スカート
- ブラウス、シャツ、ワンピース(ポリエステルなど)
- 学生服、セーラー服



※  (水洗いはできない)表示のものは、洗濯機で洗濯できませんのでご注意ください。  
 (溶剤は石油系のものを使用する)表示のものは、洗濯機は使用できません。

## 衣類の前処理

- しみやひどい汚れは早めに処理してください。  
時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗いなどで処理をしておくことより効果的です。
- ボタンやしゅうがついている衣類は裏返にします。
- ボタンやファスナーは閉めてください。

## 色落ちの確認

- 色落ちしそうな衣類は、あらかじめ、色落ちの確認をしてください。白いタオルなどに洗剤液を含ませ、衣類の目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないか確認してください。  
色落ちがあった場合は、お洗濯しないでください。
- 色落ちしやすい衣類(スカーフ、外国製の衣類など)は、十分に注意してください。

## 脂汚れ、しみなどを落ちやすくする

### えり、そで口などの脂汚れ

- えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。



### しみ

- 裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシなどで軽くたたいて落します。





洗濯後、縮みが大きくなった場合のことを考えて、元の形に修正するために型紙を取っておくと便利です。

## しみの抜きかたワンポイント

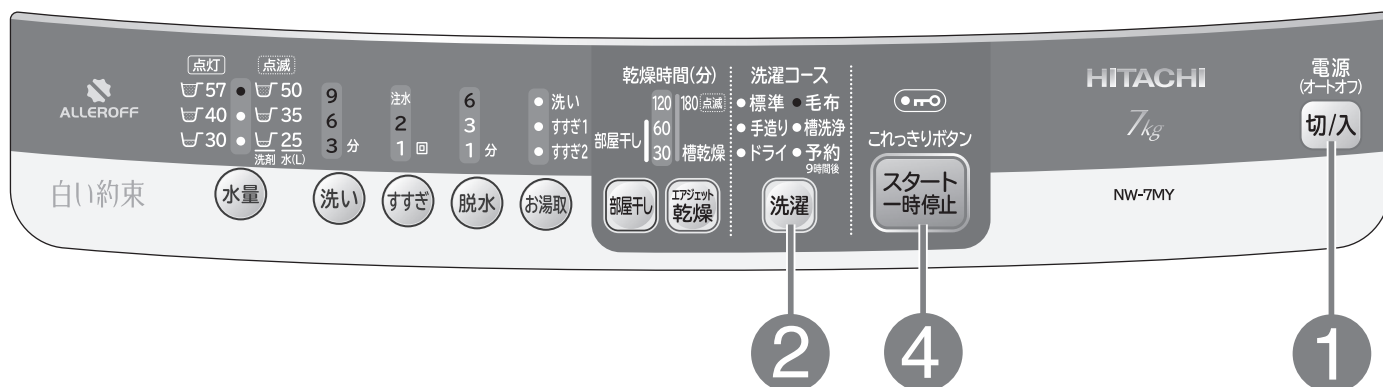
- 万一、衣類にしみがついた場合は、3倍程度の洗濯液につけ置きしてください。  
※上記対応でしみが抜けないときは、下記のように市販の漂白剤をご使用ください。
- 漂白剤は、酸化型と還元型とに分けられ、さらに酸化型は塩素系と酸素系に分けられます。各々、下記のような特徴があり、使えるものと使えないものがありますので、ご使用前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しくご使用ください。
  - ・酸化型
    - (1)塩素系(ハイター)：漂白力、殺菌力はもっとも強いのですが、色物や毛・絹には使えません。
    - (2)酸素系(ワイドハイター、カラーブライト)：色・柄物に使えますが、粉末の場合は毛・絹には使えません。
  - ・還元型(ハイドロハイター)  
水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、塩素系漂白剤のためにワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。

## 使用する洗剤

- 衣類の取扱絵表示が  (ドライクリーニングができる)表示のものは、ドライマーク衣類専用の洗剤(液体)を使用してください。 (弱い手洗いが良い)表示のものは、液体中性洗剤も使用できます。
- 使用量は洗剤の表示に従ってください。
- 液体中性洗剤またはドライマーク衣類専用洗剤(液体)以外は使わないでください。

# 毛布コースで洗濯する

## 使いかた



**準備** 水栓を開け、洗濯物を入れる

お洗濯キャップをセットする

**1** 切/入 を押し、電源を入れる

**2** 洗濯 を押し、「毛布」コースを選ぶ

■水量は自動的に一番高い水量になります。水量を変更する場合は 水量 を押す

■脱水を変更する場合は 脱水 を押す

■風呂水を使用する場合は お湯取 を押す

**3** 液体洗剤、ソフト仕上(柔軟)剤を入れてふたを閉める

**4** スタート一時停止 を押す

運転が終了したら、お洗濯キャップを外す

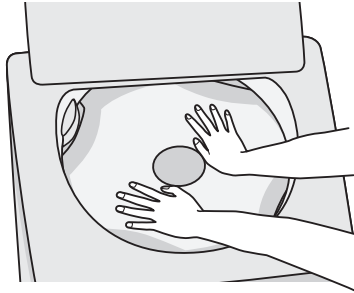
●掛け布団のえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗布して汚れを落としてください。

## お洗濯キャップを取り付けるときは

- 1 お洗濯キャップを曲げ、凹部と洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)を合わせる



- 2 図のように、お洗濯キャップ全体を洗濯・脱水槽の中に入れる



- 3 中央リング部を持って、バランスリングのすぐ下まで引き上げる



## お洗濯が終わったら

### お洗濯キャップの取り外しかた

- 1 お洗濯キャップの手前側を押し下げる



- 2 中央リング部を図のように持ち、矢印の方向に曲げる

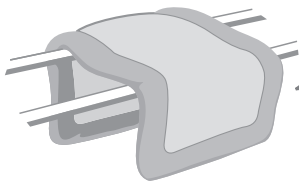


- 3 そのまま手前に引くように、持ち上げる



### 干しかた

- 風通しのよいところで自然乾燥させます。  
(掛け布団の場合は、晴天の日で約4時間かかります)

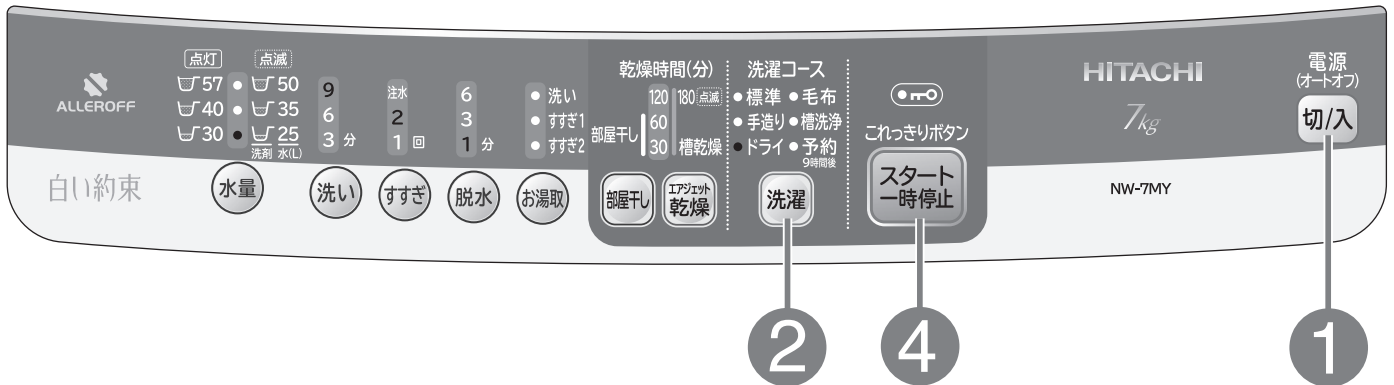


□形に干すと、乾きが早くなります

- 掛け布団は時々裏返すと乾燥がより効果的です。  
また、時々中の詰め物をつまんでほぐすと、ふっくら仕上がります。
- 羽毛の掛け布団は、詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。  
(羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください)
- 毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

# ドライコースで洗濯する

## 使いかた



**準備** 水栓を開け、洗濯物を入れる

お洗濯キャップをセットする

**1** 切/入 を押し、電源を入れる

**2** 洗濯 を押し、「ドライ」コースを選ぶ

■水量を変更する場合は 水量 を押す  
<選べる水量は「25～35L」です>

**3** 液体洗剤、ソフト仕上(柔軟)剤を入れてふたを閉める

**4** スタート一時停止 を押す

運転が終了したら、お洗濯キャップを外す

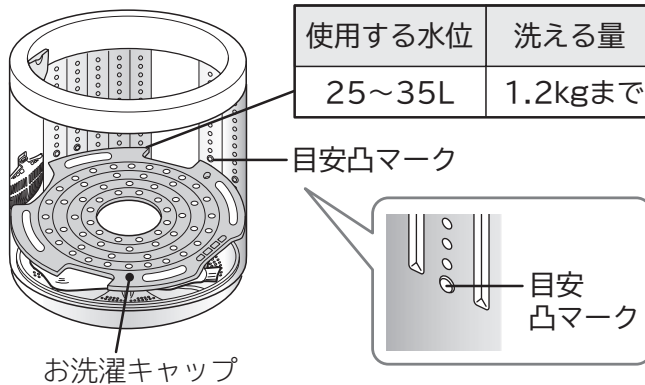
- お湯や風呂の残り湯は使用しないでください。  
衣類の縮みが大きくなったり、入浴剤の色が移る恐れがありますので、水道水を使用してください。
- 洗濯物の量に対して水位を低くすると、布が傷む恐れがありますのでご注意ください。

## お洗濯キャップを取り付けるときは

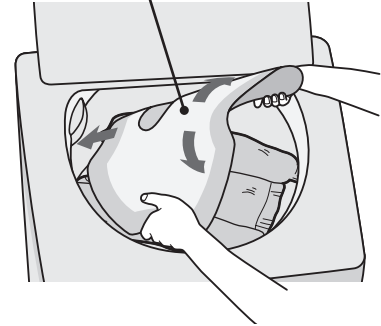
### 取り付けかた

お洗濯キャップを曲げ、凹部と洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)を合わせて、洗濯・脱水槽に入れる。

### 取り付け位置の目安



お洗濯キャップ



- 洗濯物はきちんとたたんでから、洗濯・脱水槽に均一に入れて、お洗濯キャップでおさえてください。

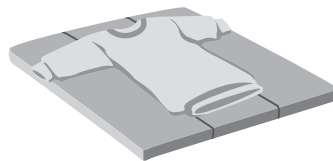
## お洗濯が終わったら

### お洗濯キャップの取り外しかた

取り付けたときと同じように、洗濯・脱水槽の中で2つ折りにして引き出す。

### 干しかた

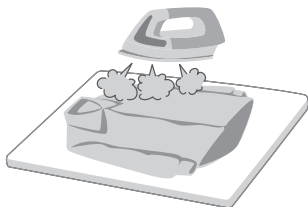
- ウールなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。
- 風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。



- ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。

### 仕上げについて(縮み・形くずれの直しかた)

- スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。



- スチームをたっぷり当てたあと、洗濯前にとっておいた型紙に合わせて、元の形まで伸ばし、形を整えます。

